

武豊町地域公共交通会議 第30回 議事録

日時：平成30年12月14日（金）

14：30～16：30

場所：全員協議会室

○司会（防災交通課長）

- ・それでは時間となりましたので、ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第30回会議を開催させていただきます。
- ・委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。それでは、会議資料の次第に従いまして、取り進めさせていただきます。
- ・はじめに、開会にあたりまして、会長であります、靱山芳輝 武豊町長よりごあいさつさせていただきます。よろしくお願いいたします。

1. 会長あいさつ

○靱山町長

- ・こんにちは。日頃はお立場からご支援、ご協力いただきありがとうございます。
- ・また、本日は、ご多忙の所、武豊町地域公共交通会議に参加頂きありがとうございます。加えて、円滑な事業推進に協力賜りお礼申し上げます。
- ・青山駅への乗り入れ、接続ができるようになりました。これにより、利用者が大幅に増えました。
- ・半田市との連携を深め、気楽に移動できるように努めていきたいと考えます。
- ・本日の議事ですが、報告事項2件、議事3件を予定しています。地域公共交通網形成計画の中間評価などについて協議を予定しています。
- ・本日は、多くの住民に利用いただけるよう忌憚のないご意見を賜りたい。よろしくお願いいたします。

○司会（防災交通課長）

- ・ありがとうございました。議事に入る前に、今回の会議から新しく委員になられる1名の方に委嘱状をお渡ししたいと思います。
- 愛知県バス協会 専務理事 小林裕之様

○司会（防災交通課長）

- ・それでは、ただいまから議事に入らせていただきます。
- ・本日は、委任状を6名の委員の方からいただいております、代理出席していただいておりますので、よろしくお願いいたします。また、2名の委員の方から欠席の報告を受けておりますが、過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので、規約に定める（第6条第3項）開会要件を満たしております。
- ・それでは、伊豆原先生、恐れ入りますが、議事のとり進め、よろしくお願いいたします。

○伊豆原座長

- ・次第に従って進めていきます。

・会長の挨拶にあったように、いろんな視点からご意見を頂戴したい。

2. 議 事

●報告事項1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

○伊豆原座長

・利用実績について説明をお願いします。

○事務局（鳥居） ・資料説明

○伊豆原座長

・ありがとうございました。何かご質問ご意見ありますか。

○廣瀬代理（愛知運輸支局）

・タクシーについて、利用のない停留所がある。見直しについて、停留所の変更など検討しないか。

○事務局

・停留所はかえらずシステムを変えたい。その後の状況をみて、次の段階で停留所の検討を考える。

○木村委員

・赤ルート、青ルートで、大きく利用数がちがう。人口がかなり違うのか。

○事務局

・正確には把握していないが、倍以上の違いはある。

○伊豆原座長

・タクシーはその他のところでも説明があるそうです。

・その他意見がありませんので、確認いただいたとして、次の議事に移ります。

●報告事項2 北部赤ルート停留所別利用者数表（平成30年10月）について

○伊豆原座長

・青山駅への接続をふまえた利用者数について説明をお願いします。

○事務局 ・資料説明

○伊豆原座長

・ありがとうございました。青山駅と石川橋の停留所の新設等による利用状況について報告いただいた。11月の傾向がわかりますか。

○事務局

・11月の青山駅は合計700人の利用がある。石川橋は50人くらい。周知をしていく。

○児玉委員（愛知県）

・青山駅の実績に加え、イオン半田店の利用が1000人と多い。過去の実績と比較してどうか。

○事務局

・イオン半田店の利用者も順調に増えている。

○児玉委員（愛知県）

・事業改善に取り組み、よい試みだったと思います。

○伊豆原座長

・他にありませんか。効果があったということで、良い意見をいただきました。分析を進めながら、利用促進を継続いただきたい。

●第1号議案 南部青ルート「寺西」停留所の新設について

○伊豆原座長

・停留所新設について説明をお願いします。

○事務局 ・資料説明

・区長からの要望もあがっていることを追加させていただく。

○伊豆原座長

・ありがとうございました。

○北川委員（建設事務所）

・県道です。設置について承諾しているが、道路占用許可申請手続きはしておいてください。

○廣瀬委員代理（愛知運輸支局）

・設置の届け出は必要です。1か月前までに申請をお願いします。

○伊豆原座長

・設置してほしいという要望なので、なるべく早く設置してあげるべきだが可能か。簡単な標識で、目印でよいので設置を検討してほしい。

○事務局

・看板などの準備があるが、できるだけ3月1日を目指して設置をすすめたい。

○伊豆原座長

・同じルート上なので、影響が少ないですから、早めに設置をお願いします。

○事務局

・周知ができるか検討し、3月1日設置で検討したい。

○伊豆原座長

・設置について同意いただいたとしてよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・なるべく早く設置をお願いして、全員の合意をいただいたとします。

●第2号議案 「武豊町地域公共交通網形成計画」の中間評価について

○伊豆原座長

- ・中間評価について説明をお願いします。

○事務局 ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。網形成計画の中間評価を説明いただいた。ご質問、ご指摘ありますか。

○木村委員

- ・資料 38 頁 バスを利用してよかったことが整理されている。外出機会が増えた、行動範囲が広がった、バス等に乗ることそのものが楽しいといった回答は、認知症の予防になる。大変評価できること。

○伊豆原座長

- ・よい意見を頂戴した。こうした効果を確認し、皆さんに利用していただきたいと思います。
- ・網形成計画で議論すべきことについて、目標2の支援額の減額がある。経費が下がりにくい状況にある。利用者数がふえて運賃収入は増えているが、国の補助金の減額が上回り、その見通しはみえない。努力したことが、この指標に反映されなくなっている。友の会の活動など努力の結果が、反映されにくくなっているのが問題といえないか。
- ・今回はこれで確認するが、努力が見える結果、分析をいれないといけないと思う。

○事務局

- ・指標設定は難しいです。町の負担額に加えて、住民の満足度などアンケートなどで見ていきたい。

○伊豆原座長

- ・努力していても数字で見えないと励みにならないので、もう少し考えていこうと思う。委員からも何か良いアイデアがあればお願いしたい。事務局を含め考えましょう。
- ・今回は中間評価です。網形成計画は固定された計画ではなく、社会情勢にあわせて修正可能な計画だと思う。修正、追加があればこの会で指摘いただき、修正し実行していきたいと思う。
- ・中間評価について、これでよいと承認いただいてよろしいか。
- ・特にご異議ないようなので、承認いただいたものとします。

●第3号議案 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

○伊豆原座長

- ・自己評価について説明をお願いします。

○事務局 ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。30年度の改善事業の自己評価の報告です。来年1月18日ごろが締め切りと聞いています。ご質問、ご意見ありますか。

○児玉委員（愛知県）

- ・補足させていただく。幹線系統は、複数の市町をまたがるもの。フィーダー系統は、枝に想定するもの。幹線が補助なくなると、フィーダーも補助が外れることになる。
- ・幹線系統は県でとりまとめ、1月10日にバス対策会議で協議し、国に報告する予定です。
- ・武豊町は県の補助金を活用して、バスマップを作成いただいた。来年度も、補助金を確保する予定です。来年は半田市と一緒に活用いただければと思う。

○伊豆原座長

- ・幹線、フィーダー系統の説明をいただいた。
- ・中部様式は、中部運輸局管内だけの取り組みです。この資料で住民の皆さんにもわかっていただきたく、作成をお願いしている。国に提出するだけでなく、地元の皆さんに見てもらって評価し、事業を進めていくことが大切だと思う。住民の皆さんの視点で、ご意見を頂戴できればと思う。
- ・本日指摘が無くても、後で事務局にお伝えいただきたい。
- ・今日の時点で承認をいただくことをしたい。修正があれば、事務局と座長、会長に修正を一任いただくということで承認をいただきたいが、よろしいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。了承いただいたこととします。

3. その他

○伊豆原座長

- ・本日本日予定していた議事は以上です。できれば地元の方に、本日の議事について話題にしていきたいと思います。その他事項について説明をお願いします。

● 事前予約制バス（乗合タクシー）制度の見直しについて

○事務局

- ・事業者との協議が必要なので、現在、タクシー事業者と協議している。次回3月の会議の際に事業提案をさせていただく予定。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・従来は、時間が決まっていた。すぐ来てくれればよいが、運転手の手配が難しいとするとすぐきてくれない。今は、ルートが決まっているが、その先まで移動できるとよい。

○事務局

- ・あらかじめ時間を確認しながら、タクシー事業者に予約をお願いする。ルートについては、どこまででもよいとしてしまうと、限りなく要望がでてしまう。

○南委員（議員）

- ・議会でも協議した。北山区から、停留所設置の要望があった。タクシーの利用状況をみると、壱町田が多い。赤ルートの梨子ノ木北停留所に接続する。壱町田の人が、梨子ノ木北を利用して多くなっている。加古団地、壱町田を通すようなバスルートを検討してほしい。
- ・タクシーは電話で予約することも面倒なので、バスを走らせてほしいと思う。要望として発言させていただいた。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・電話で予約ができるとしても、すぐ来ないという問題はあるかもしれない。希望として、料金をより高くしてかまわないので、希望するバス停までいけるデマンドのタクシーの運用に変えてほしい。柔軟な発想に切り替えてほしい。通常のタクシーの半額ぐらいにするのが自分の希望です。

○伊豆原座長

- ・タクシーの活用については、櫻場さんの指摘も考えられる。現在は定時定路線として、時間とルートを指定したバス事業をベースに考えたもの。指摘は、自由度を高めてほしいという意見です。どこまで自由度を高めるべきなのか議論する必要がある。
- ・事務局で、継続して考えていただきたいことだと思う。
- ・この論点は、乗合型ですすめるか、乗用型ですすめるか。料金設定も、負担を少なく制約があるものと、自由を高めて応分の負担を求めるものという議論が必要。

○事務局

- ・事業の切り替えは来年の10月を想定。来年3月の会議で、事業案を提示したい。

○伊豆原座長

- ・制度変更は、愛知運輸支局への申請手続きが必要。3か月前までに決定し、住民にも周知が必要となる。あまり議論はできない。支局にも相談していただきながら、委員からは事務局に意見を言っていただき、整理を進めてほしい。タクシー協会の協力もお願いしておく。

● 武豊町コミュニティバス利用促進友の会の活動について

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・活動したことを報告する。今年はベンチづくりを行った。青ルートで10脚整備したので、今年は赤ルートで10脚整備した。住民の協力を得て行っています。
- ・産業まつりの際に100名のアンケート調査を行った。自由記述では、バス停留所の増加、両方向の運行、手を上げたら止まってほしいなどの意見もいただいている。
- ・友の会の活動目的として、認知度向上という目標は達成できた。今後は、利便性の向上、活用の方策を考える会に変えていきたい。活動方針を変えていきたいと考えている。
- ・今後のこととして、活動している人数が少ない。メンバーを増やしたい。

- ・移動手段について、バスに限らずに、75歳以上の人の免許返納を促進する、研究するような活動の場に変えていきたい。講座をもちたい。講座に参加した人にメンバーに加わってもらいたいと思っている。

○伊豆原座長

- ・地域に帰って話題にしていただき、興味がある人を見つけたら櫻場さんに紹介ください。後期高齢者に対して外出をしてもらう機会をつくることは大切。認知症にならないために。

○木村委員

- ・利用促進友の会さんには非常によくやっけていただいていると思っている。
- ・この地域はバスが廃止して時間がたった。バスの利用を体験していない世代がある。子供で、もの心ついたときに、コミュニティバスが走っているという世代が生まれてきた。子供に対するイベントも続けてほしいと思う。
- ・コミュニティバスを経験し、乗ることに抵抗を感じない世代を増やすよう、イベントを続けてほしいと思う。

○事務局

- ・町でも保育園へ出張訪問し、バス体験乗車を2年前から始めた。町の事業として継続していきたい。

○伊豆原座長

- ・いろんなアイデアをお願いしたい。若い人で車を持たない生活が生まれてきている。公共交通を基本とする生活スタイルについて皆さんからアイデアをお願いしたいと思います。

● 一般社団法人計量計画技術研究所主催の第12回モビリティマネジメント技術講習会での事例紹介について

○事務局

- ・毎年7月自治体職員向けの講習会で武豊町に要請があった。豊田市でのモビリティマネジメント会議での報告を契機に要請がありました。

○伊豆原座長

- ・交流を深めてください。来年のモビリティマネジメント会議の対応もお願いしたい。

● 対流・交流促進による公共交通活性化事業について

○事務局

- ・愛知県主導、観光目的での活性化施策を行っている。半田市他2市2町の関係者が集まって、観光プランのパンフを作成しているところ。間に合えば3月の会議で報告したい。

○児玉委員（愛知県）

- ・県で担当しています。知多半島は、地域資源が豊富で、公共交通もあり、うまくマッチングし、1日あそべないかという企画を考えている。3月に公開に向けて、中間報告として、県ホームページで報告しているので参照ください。
- ・スマホをつかった、スタンプラリーもおこなっている。スタンプを5つあつめると景品応募がで

きるもの。利用促進友の会からも景品提供もいただいた。ありがとうございます。

○伊豆原座長

- ・知恵の見せ所の取り組みです。皆さんで話題にしていきたい。アイデアがあれば、県に願います。

○木村委員

- ・免許返納者は、ゆめころんの利用について2年間無償としている。2年間でバスに乗るとは限らない。10年、20年間、無料にしたほうが面白いのではないか。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・友の会のアンケート調査で、80歳以上の利用は6%。80歳以上は無料にしてもよいのではないか。

○伊豆原座長

- ・事務局で検討ください。公共交通のことだけでなく、福祉、地域連携など、横のセクションと連携をとっていただき考えてほしいことです。できること、できないことあると思います。予算の限られることなので、可能な範囲で検討していただければと思う。

○事務局

- ・網形成計画の計画期間が33年度、最終年であるため、そこに向けて検討をしていきたい。

4. 閉 会

○初山会長

- ・長時間にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。伊豆原先生、進行ありがとうございました。
- ・指摘いただいた点を整理すると、事前予約制バスについて、一定の方向性を出すことにします。南部ルートの停留所設置は、3月1日を目標に設置を検討する。評価指標については、努力の結果の見える化の検討を宿題としていただいた。地域のニーズが変化している。年齢でニーズが変わる。利用促進友の会の産業まつりでのアンケート調査結果を参考にさせていただく。子供にバスに乗ってもらう習慣をつける取り組みも継続してほしいとの指摘について、車社会になれてしまいが、バスになじんでももらうことも改めて重要であると感じた。愛知県のエコ旅プランの取り組みも確認した。運転免許証の返納について、事故防止につながる。80歳以上を対象にバスの無料化の提案もいただいた。
- ・以上の指摘は、網形成計画の最終年度、33年度に向けて新しい計画策定で検討していきたい。
- ・長時間にわたり審議ありがとうございました。

○司会（防災交通課長）

- ・ありがとうございました。以上をもちまして「武豊町地域公共交通会議」の第30回会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上